

# データ プロジェクター

取扱説明書

VPL-DX146/DX126  
VPL-DW126

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。  
ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、  
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、  
いつでも見られるところに必ず保管してください。

**HDMI**

# 目次

## はじめに

各部の名前と働き .....	4
本体 .....	4
接続端子 .....	5
リモコンと操作部 .....	5

## 準備

接続のしかた .....	8
コンピューターとの接続 .....	8
ビデオ機器との接続 .....	10
USB メモリーとの接続 .....	11

## 映像の投写と画面の調整

映像を投写する .....	12
映像を調整する .....	14
電源を切る .....	17

## メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた .....	18
画質設定 .....	20
画面モード .....	22
機能設定 .....	26
操作設定 .....	27
接続／電源設定 .....	28
設置設定 .....	31
情報 .....	32

## ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する .....	33
ウェブブラウザでプロジェクターの コントロール画面を開く .....	33
プロジェクターの状態を確認 する .....	34
プロジェクターを操作する .....	35
メールレポート機能を利用する ...	35

## ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能

ネットワーク経由でのプレゼンテー ション機能を使用する .....	37
Projector Station for Network Presentation をインストール する .....	38
Projector Station for Network Presentation を起動する .....	38
映像を転送する .....	38
接続設定 .....	39
コントローラーの操作のしかた ...	40
タブレット端末／スマートフォンか ら画像やファイルを送信して表示 する .....	40

## USB 経由での映像の投写

USB 経由で映像を投写する .....	41
USB Display を起動する .....	41
映像を転送する .....	41
コントローラーの操作のしかた ...	42

---

## USB Media Viewer 機能

USB Media Viewer 機能を利用する	43
サムネイル表示モード	44
オプションメニュー	44
ディスプレイモード	45
オプションメニュー	45
スライドショーモード	46
オプションメニュー	46

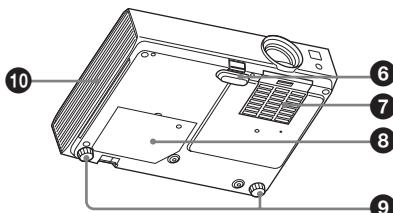
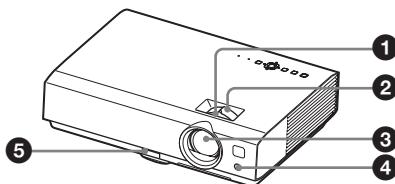
---

## その他

インジケーターの見かた	48
メッセージ一覧	49
故障かな?と思ったら	51
ランプを交換する	54
エアーフィルターを掃除する	56
仕様	57
投写距離	63
寸法図	68
保証書とアフターサービス	71
索引	72

# 各部の名前と働き

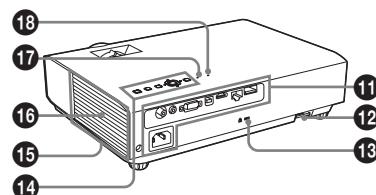
## 本体



- ① フォーカスリング（14 ページ）
- ② ズームリング（14 ページ）
- ③ レンズ
- ④ リモコン受光部
- ⑤ 脚調整ボタン（15 ページ）
- ⑥ 前脚部（調整可）（15 ページ）
- ⑦ エアーフィルターカバー／吸気口（56 ページ）
- ⑧ ランプカバー（54 ページ）
- ⑨ 後脚部（調整可）（15 ページ）
- ⑩ 排気口

### △警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。



⑪ 接続端子部（5 ページ）

⑫ 盗難防止用バー

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

⑬ 盗難防止ロック

Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

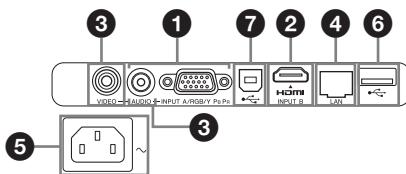
⑭ 操作部（5 ページ）

⑮ 吸気口

⑯ スピーカー

⑰ LAMP/COVER インジケーター（48 ページ）

⑱ ON/STANDBY インジケーター（48 ページ）



## 入力 (8、10 ページ)

### ① 入力 A (INPUT A)

映像：RGB／Y PB PR 入力端子  
音声：音声入力端子

### ② 入力 B (INPUT B)

映像：HDMI 入力端子  
音声：HDMI 入力端子

### ③ ビデオ

映像：ビデオ入力端子  
音声：音声入力端子

## ご注意

入力 A とビデオは同じ音声入力を使用します。

## その他

### ④ LAN 端子 (LAN) (33 ページ)

### ⑤ 電源コンセント (～)

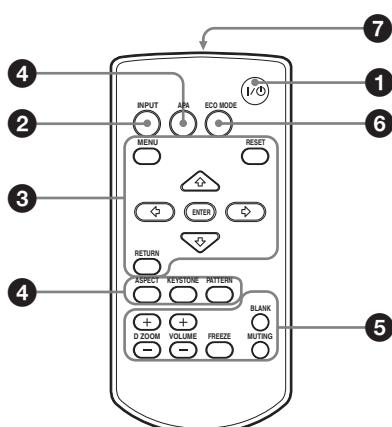
付属の電源コードを接続します。

### ⑥ USB 端子 (タイプ A) (41 ページ) (11、43 ページ)

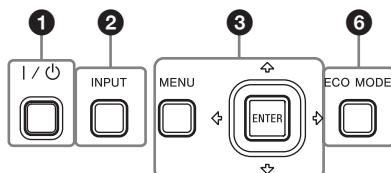
### ⑦ USB 端子 (タイプ B) (41 ページ) (41 ページ)

## リモコンと操作部

### リモコン



### 操作部



### ① 電源を入／スタンバイする I／O (オン／スタンバイ) ボタン

### ② 入力を切り換える (12 ページ) INPUT (入力選択) ボタン

### ③ メニュー操作などを行う (18 ページ)

MENU (メニュー) ボタン  
RESET (リセット) ボタン  
ENTER (決定) /  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  (矢印) ボタン  
RETURN (戻る) ボタン

### ④ 映像を調整する (14 ページ)

ASPECT (アスペクト) ボタン (22 ページ)  
KEYSTONE (台形補正) ボタン (16 ページ)  
PATTERN (パターン) ボタン (16 ページ)  
APA (オートピクセルアライメント) ボタン\* (16 ページ)

#### ご注意

\* RGB 入力端子 (入力 A) からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

### ⑤ 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM (デジタルズーム) +/- ボタン\*1

投写中の映像の中央を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。

拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

#### BLANK (映像消去) ボタン

一時的に投写中の映像を消します。もう一度押すと解除します。消画中はランプ出力を低下させ、消費電力を抑えることができます。

#### MUTING (消音) ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME (音量) +/- ボタン  
音量を調整します。

#### FREEZE (フリーズ) ボタン\*2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

#### ご注意

\*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

\*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。USB (タイプ A)、USB (タイプ B)、ネットワーク入力選択時は使用できません。

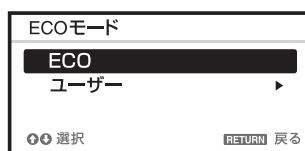
### ⑥ 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE (エコ モード) ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。

#### ECO モードメニュー



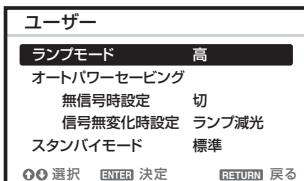


**2 ↑/↓ ボタン**またはECO MODEボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

**ECO**：それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「低」／無信号時設定：「スタンバイ」／信号無変化時設定：「ランプ減光」／スタンバイモード：「低」）に設定します。

**ユーザー**：ECO 設定を手動で行えます。（手順 3 へ）

**3 「ユーザー」**を選び、➡ ボタンを押す。  
設定項目が表示されます。



**4 ↑/↓ ボタン**で項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。

**5 ↑/↓ ボタン**で設定値を選ぶ。

**6 ENTER ボタン**を押す。

元の画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、接続 / 電源設定メニュー（28 ページ）の「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」をご覧ください。

## その他

### ⑦ リモコン発光部

#### リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。

・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

# 接続のしかた

## ご注意

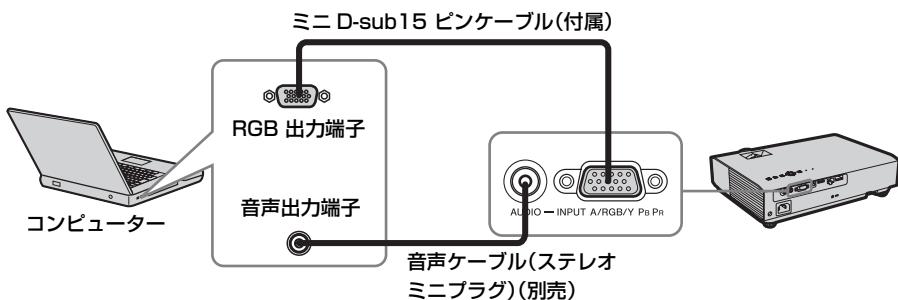
- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

## コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

### 入力 A (INPUT A)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。



## ご注意

コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-DX146/DX126 は  $1024 \times 768$  ピクセル、VPL-DW126 は  $1280 \times 800$  ピクセルに設定することをおすすめします。

### 入力 B (INPUT B)

HDMI 出力端子付きのコンピューターと接続します。

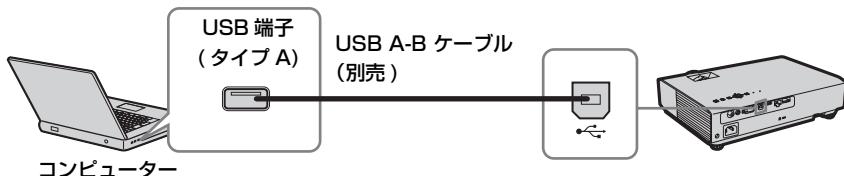


**ご注意**

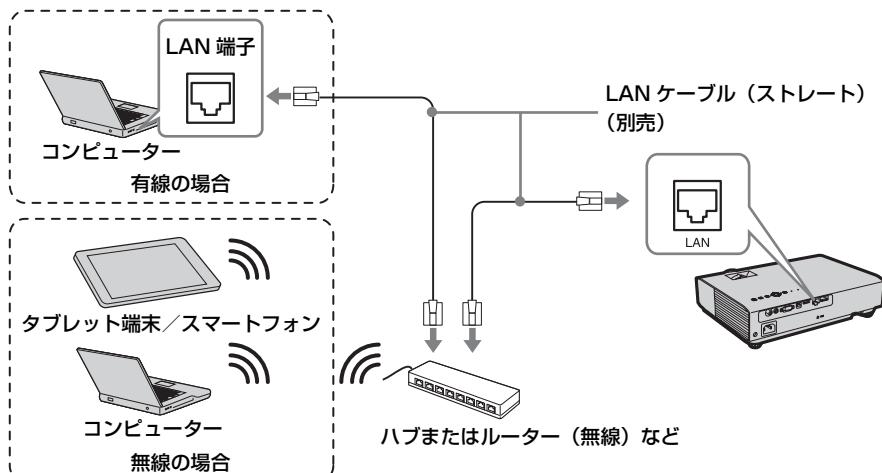
- ・HDMI で接続する機器は、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。
- ・コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-DX146/DX126 は  $1024 \times 768$  ピクセル、VPL-DW126 は  $1280 \times 800$  ピクセルに設定することをおすすめします。

**USB 端子 (タイプ B) (•↔)**

USB 端子付きのコンピューターと接続します。(「USB 経由で映像を投写する」(41 ページ))

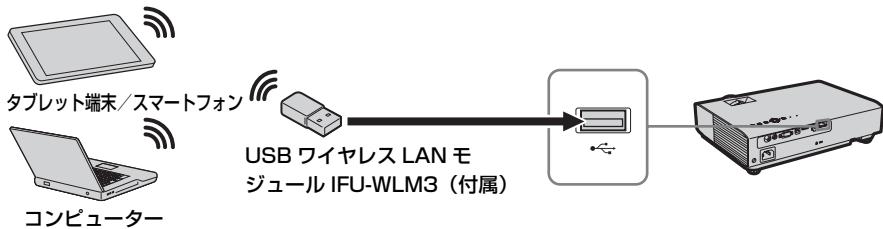
**LAN 端子 (LAN)**

ハブやルーターを経由して、コンピューター、タブレット端末、スマートフォンと接続します。(「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」(37 ページ))



## USB 端子 (タイプ A) (•←)

USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 (付属) と接続します。「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」(37 ページ)



### ご注意

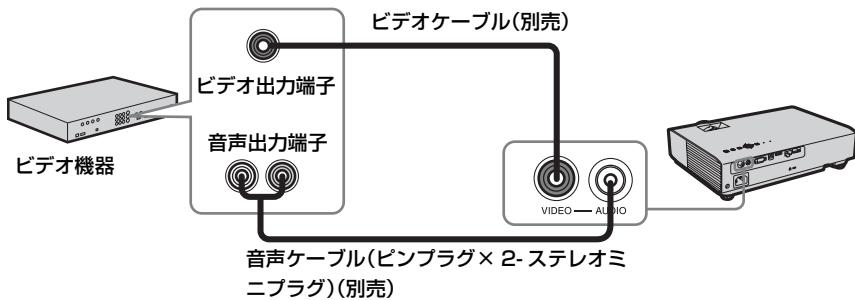
- ・指定以外の USB ワイヤレス LAN モジュールは動作しません。
- ・USB ワイヤレス LAN モジュールを抜き差しする場合には必ずプロジェクターがスタンバイ状態（スタンバイモード：「低」）、または電源コードを抜いた状態で行ってください。
- ・タブレット端末／スマートフォンが USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 (付属) 経由でプロジェクターに無線接続する場合、プロジェクターの「無線 LAN 設定」の「アクセスポイント設定」は「手動」にしてください。(28 ページ)

## ビデオ機器との接続

DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

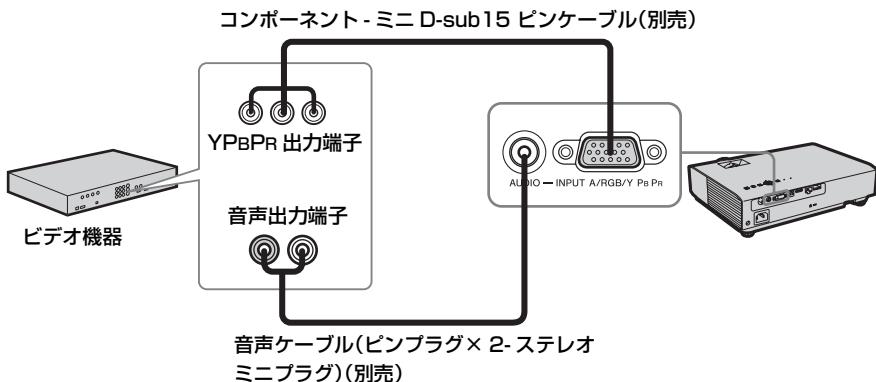
## ビデオ (VIDEO)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



## 入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



## 入力 B (INPUT B)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



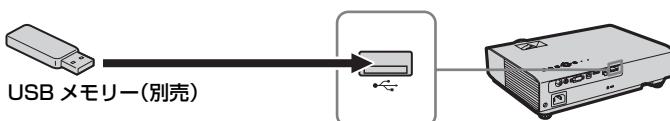
### ご注意

- ・HDMI で接続する機器は、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

## USB メモリーとの接続

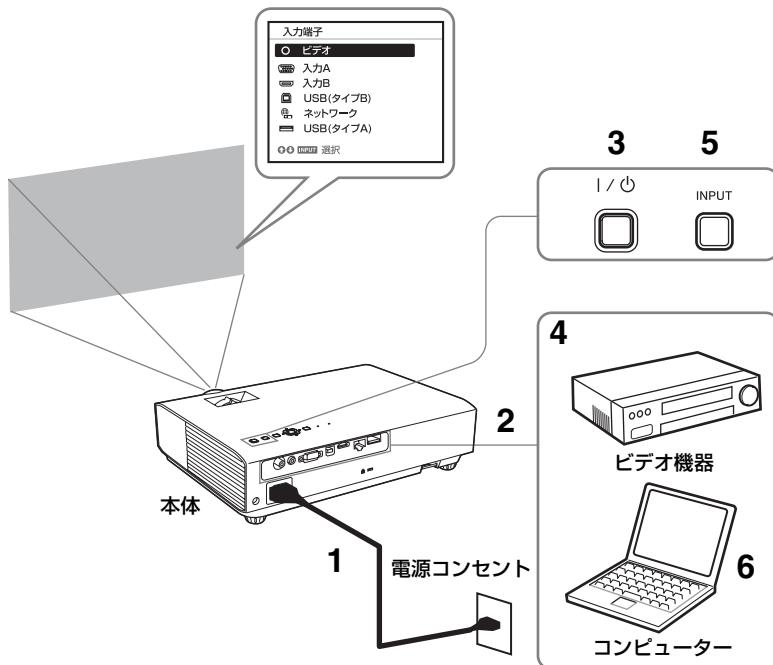
### USB 端子 (タイプ A) (●←→)

USB メモリーと接続します。 (「USB Media Viewer 機能を利用する」 (43 ページ))



# 映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」（63ページ）をご覧ください。



**1 電源コードをコンセントに差し込む。**

**2 再生する機器と接続する（8ページ）。**

**3 I/○ボタンを押して、電源を入れる。**

**4 再生する機器の電源を入れる。**

**5 投写する映像を選ぶ。**

本機の INPUT ボタンを押すと、スクリーンに入力切換パレットが表示されます。INPUT ボタンをくり返し押すか、または▲/▼ボタンを押し、投写する映像を選びます。

## 6 コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。

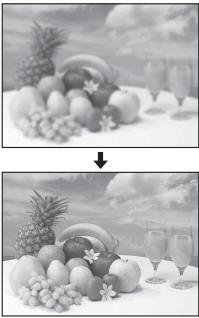
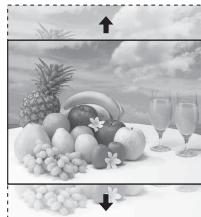
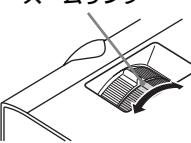
出力先の切り替えは、コンピューターによって異なります。  
(例)



USB メモリー内の写真を投写する場合は、「USB Media Viewer 機能」をご確認ください (43 ページ)。USB 経由で映像を投写する場合は、「USB 経由での映像の投写」をご確認ください (41 ページ)。ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を利用して映像を投写する場合は、「ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能」をご確認ください (37 ページ)。

## 7 画面のフォーカス、サイズ、位置を調整する (14 ページ)。

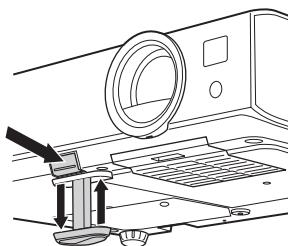
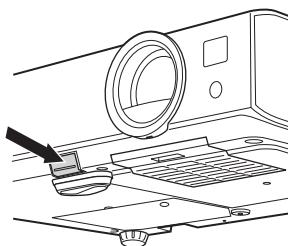
## 映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)	画面の位置
		
		

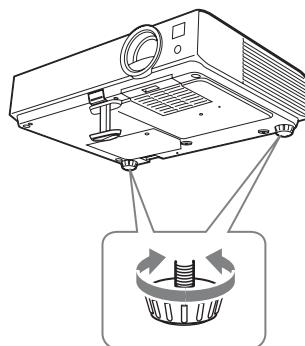
## 脚調整ボタン / 後脚部（調整可）による微調整

脚調整ボタンおよび後脚部（調整可）を使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

- 1 脚調整ボタンを押しながらプロジェクターを持ち上げ、角度を調整します。



- 2 プロジェクターの角度を調整したら、脚調整ボタンを離し、前脚部（調整可）をロックします。
- 3 後脚部（調整可）を左右に回すことによって、高さを微調整することができます。



### ご注意

- ・前脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・前脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。
- ・調整範囲以上に後脚部（調整可）を無理に回さないでください。破損のおそれがあります。

## 投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの画面モードのアスペクトからも設定できます（22 ページ、24 ページ）。

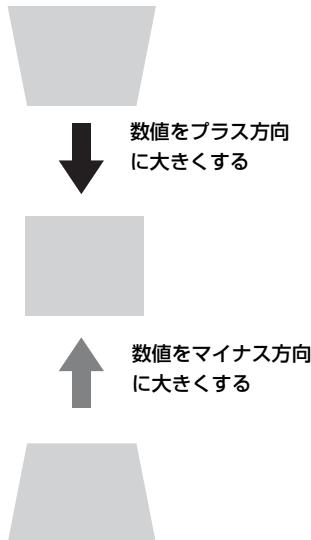
## 台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

通常は、自動的にオートキーストーン補正機能が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンの KEYSTONE ボタンもしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

### ご注意

キーストーン補正是電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。



## パターンを表示する

リモコンの PATTERN ボタンを押すと、投写画面上に調整用パターンまたは格子パターンを表示することができます。繰り返し PATTERN ボタンを押すと、元の画面に戻ります。格子パターンは、パソコンを使用せずにホワイトボードや黒板に文字や図形を描く際も、補助線として利用します。

### ご注意

USB（タイプ A）、USB（タイプ B）、ネットワーク入力選択時は使用できません。

## コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンの APA ボタンを押します。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。画面モードからも実行できます（23 ページ）。機能設定のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します（26 ページ）。

## 電源を切る

### 1 本体またはリモコンの I/Off ボタンを押す。

シャットダウンが開始され、電源がオフされます。メッセージ表示中の 10 秒以内に I/Off ボタンをもう一度押すとすぐに電源がオンの状態に復帰します。

### 2 電源コードを抜く。

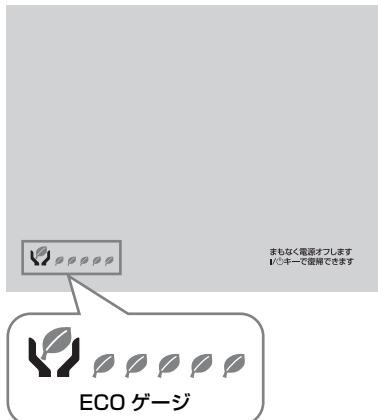
#### 確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/Off ボタンを数秒間押し続けてください。(49 ページ)

#### ECO ゲージ

本機の ECO 機能が効果的に活用されたかを表す指標です。(ECO 機能については、「ECO モードボタン」(6 ページ)、「省エネ設定」(28 ページ)をご覧ください。)

ECO 機能の設定により省電力が達成された度合いによって、シャットダウン時に葉マークの枚数で表示されます。



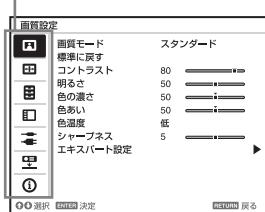
# メニューの操作のしかた

## ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

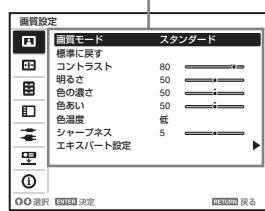
- 1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。**
- 2 設定したい設定メニューを選ぶ。**  
↑/↓ボタンを押して設定メニューを選び、→ボタンまたはENTERボタンを押す。

設定メニュー



- 3 設定したい項目を選ぶ。**  
↑/↓ボタンを押して項目を選び、→ボタンまたはENTERボタンを押す。  
←ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目

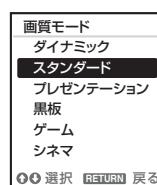


- 4 設定項目の設定や調整をする。**

設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、**3** の操作方法に従って設定したい項目を選び、ENTERボタンを押して設定を確認してください。←ボタンまたはRETURNボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中にRESETボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

### ポップアップメニューの操作：

↑/↓/←/→ボタンで項目を選びます。項目を選ぶとすぐに設定が反映されます。ただし、「表示言語」に限り、ENTERボタンを押すまで設定は反映されません。

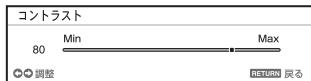


### 設定メニューの操作：

↑/↓ボタンで項目を選びます。ENTERボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

## 調整メニューの操作：

数値を大きくするときは↑/►ボタンを押し、数値を小さくするときは↓/◄ボタンを押します。ENTERボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



## 5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

## 画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	<b>ダイナミック</b> ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 <b>スタンダード</b> ：なめらかな階調の自然な画質になります。 <b>プレゼンテーション<sup>*1</sup></b> ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。 <b>黒板</b> ：黒板投写に適した画質になります。 <b>ゲーム</b> ：ゲームに適した画質になります。 <b>シネマ</b> ：映画鑑賞に適した画質になります。
標準に戻す <sup>*2</sup>	画質設定をお買い上げ時の値に戻します。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ <sup>*3*4</sup>	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい <sup>*3*4*5</sup>	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
色温度 <sup>*6</sup>	<b>高／中／低</b> ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
シャープネス	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
エキスパート設定	<b>ガンマモード<sup>*7</sup></b> <b>グラフィックス1</b> ：中間調が明るために補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投写する場合に適しています。 <b>グラフィックス2</b> ：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な諧調で再現します。 <b>テキスト</b> ：白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。

## ご注意

- \*1:コンピューター信号入力時に選択できます。
- \*2:画質モードの値はお買い上げ時の設定に戻りません。
- \*3:ビデオ信号入力時に選択できます。
- \*4:カラーバースト信号を含まない信号が入力された場合には、選択できません。
- \*5:アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- \*6:画質モードを「プレゼンテーション」または「黒板」以外に設定している場合に選択できます。
- \*7:画質モードを「黒板」に設定している場合は、選択できません。

## ■ 画面モード

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
アスペクト <sup>1</sup>	投写している画面の縦横比が切り換わります。(24 ページ)
VPL-DX146/ DX126: コン ピューター信号入力 時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル1</b> : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 <b>ノーマル</b> : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-DX146/ DX126: ビデオ信 号入力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>ズーム</b> : 画像の中心部分を拡大して投写します。
VPL-DW126: コン ピューター信号入力 時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル1</b> : 入力信号の縦横比を維持して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル2</b> : 画面いっぱいに投写します。 <b>フル3</b> : 入力信号の縦横比を維持したまま、1280 × 720 ピクセルの範囲に縦または横いっぱいに投写します。 <b>ノーマル</b> : 拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
VPL-DW126: ビデ オ信号入力時	<b>4:3</b> : 縦横比を 4:3 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>16:9</b> : 縦横比を 16:9 に固定して、画面いっぱいに投写します。 <b>フル</b> : 画面いっぱいに表示します。 <b>ズーム</b> : 画像の中心部分を拡大して投写します。

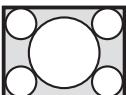
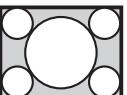
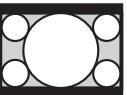
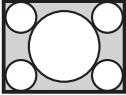
項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていったり、映りが悪い場合に調整します。
APA <sup>*2*3</sup>	ENTER ボタンを押すと画面が最適になるように自動で調整します（6 ページ）。
フェーズ <sup>*2</sup>	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
ピッチ <sup>*2</sup>	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト <sup>*4</sup>	<b>H (水平)</b> ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 <b>V (垂直)</b> ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。

**ご注意**

- \*1：・ 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などをを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- ・ 入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
- ・ 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- \*2 : RGB 入力端子（入力 A）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- \*3 : 投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」を調整してください。
- \*4 : RGB /Y Pb Pr 入力端子（入力 A）から入力されるコンピューター信号入力時、またはビデオ信号入力時に選択できます。

## アスペクトについて

VPL-DX146/DX126

	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	4 : 3	フル 1 <sup>*1</sup> 
	16 : 9	フル 1 <sup>*1 *2</sup> 
	16 : 10	フル 1 <sup>*1 *2</sup> 
ビデオ信号	4 : 3	4 : 3 <sup>*3</sup> 
	16 : 9	16 : 9 <sup>*4</sup> 

\*1 : 「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2 : 「4 : 3」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

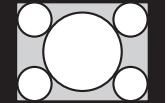
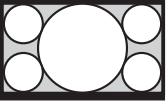
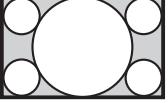
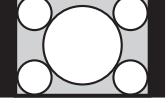


\*3 : 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16 : 9」を選んでください。



\*4 : 入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

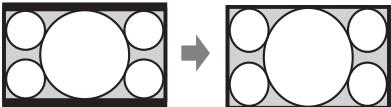


	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	4 : 3	フル 1 <sup>*1 *2 *3</sup> 
	16 : 9	フル 1 <sup>*1 *2 *3</sup> 
	16 : 10	フル 1 <sup>*3</sup> 
ビデオ信号	4 : 3	4 : 3 <sup>*4 *5</sup> 
	16 : 9	16 : 9 

\*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2:「フル 2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



\*3:16:9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4:3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出ることがあります。そのような場合は、「フル 3」を選択してください。



\*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



\*5:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



## ■ 機能設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。
スマート APA	入／切：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 <sup>*1</sup>
CC ディスプレイ	切：CC を表示しません。 CC1／CC2／CC3／CC4／Text1／Text2／ Text3／Text4：表示する CC（クローズドキャプション） のサービス（字幕または文字情報）を選択します。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（54 ページ）
スタートアップイメージ	入／切：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表 示されます。

### ご注意

\*1 :RGB 入力端子（入力 A）からコンピューター信号が入力された時に APA が実行さ  
れます。

# 操作設定

メニューやりモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
表示言語	メニューとメッセージなどに使用する言語を設定します。
画面表示	<b>入：</b> すべての画面表示が有効になります。 <b>切：</b> メニューの表示、警告メッセージ、お知らせなど以外の画面表示が出なくなります。
セキュリティロック <sup>*1</sup>	<b>入／切：</b> パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 1 「入」を選び、ENTERボタンを押して設定画面を表示する。 2 MENU、↑/↓/◀/▶、ENTERの6つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています) 3 MENU、↑/↓/◀/▶、ENTERの6つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 4 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 パスワードは電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I/□ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
操作キーロック	<b>入／切：</b> 「入」を選ぶと、操作部での操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・スタンバイ状態で、I/□ボタンを約10秒押す。 →電源が入ります。</li><li>・電源が入った状態で、MENUボタンを約10秒押す。 →操作キーロックが「切」になり、操作部の操作が可能になります。</li></ul>

## ご注意

\*1：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国／地域によって異なります。)

# 接続／電源設定

接続、電源に関わる機能を設定します。

項目	項目説明
有線 LAN 設定	
IP アドレス設定 <sup>*9</sup>	<b>自動 (DHCP)</b> ：ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 <b>手動</b> ：手動でネットワークを設定します。
無線 LAN 設定 <sup>*10</sup>	<b>無線 LAN 接続<sup>*8</sup></b> <b>入／切</b> ：USB ワイヤレス LAN モジュール（付属）の電波出力の有効／無効を設定します。
アクセスポイント設定	<b>オート／手動<sup>*11</sup></b> ：アクセスポイントを自動もしくは手動で設定します。
入力 A 信号種別 <sup>*1</sup>	<b>オート／コンピューター／ビデオ GBR／コンポーネント</b> ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。
省エネ設定	
ランプモード	<b>高／標準／低／オート<sup>*5 *7</sup></b> ：「高」を選ぶと、映像は明るくなり、消費電力が高くなります。「低」を選ぶと、消費電力が最も少なくなりますが、映像は暗くなります。「オート」を選んだ場合は、入力された映像により輝度が自動調整されます。暗い映像は、輝度を調整して投写することで、省電力につながります。一方、明るい映像は、輝度を調整せず明るく投写します。
オートパワーセービング	
無信号時設定	<b>ランプオフ</b> ：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANDBY インジケーターはオレンジ色に点灯します（48 ページ）。 <b>スタンバイ<sup>*2</sup></b> ：本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 <b>切</b> ：無信号時設定機能を無効にします。

項目	項目説明
信号無変化時設定	<b>ランプ減光<sup>*4 *5 *7</sup></b> ：本体に入力されている映像に変化が無い状態が続いた場合（約 10 秒）に、ランプモードの設定からランプ出力の低減（約 10%～15% <sup>*3</sup> ）を徐々に行います。また、任意の設定時間（ <b>5分/10分/15分/20分/デモ</b> ）の入力信号無変化検出により、自動的に約 30% のランプ出力へ徐々に減光します。また、減光中は「ランプ減光」のお知らせが表示されます。「デモ」を選択した場合、約 40 秒程度で減光を開始します。信号変化または、操作（リモコン / 操作部）を検出すると、元の明るさに戻ります。 <b>切</b> ：信号無変化時設定機能を無効にします。
スタンバイモード <sup>*6</sup>	<b>標準/低</b> ：「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。
ダイレクトパワーオン	<b>入/切</b> ：「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が「入」になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。

**ご注意**

- \*1：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- \*2：無入力信号時に自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。
- \*3：ランプモードの設定により異なります。
- \*4：ランプ減光は、時間をかけて徐々に行われる所以、減光されていることに気づかない場合があります。そのため、入力信号が変化して元の明るさに戻ったときに、減光されていたことに気づく場合があります。
- \*5：ランプ点灯後、約 3 分間はこのモードは機能しません。また、入力されている映像により信号変化 / 無変化を検出できない場合があります。減光した状態で使用を続けた場合、一定時間毎に明るくなる場合がありますが故障ではありません。無信号時設定が有効の場合は、その動作が優先されます。
- \*6：スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使用できなくなります。
- \*7：「USB（タイプ A）」、「USB（タイプ B）」または「ネットワーク」の入力端子を選んでいるときは動作しません。その場合、ランプモードは「標準」同等になります。
- \*8：無線 LAN 設定の反映には約数十秒かかります。
- \*9：IP アドレスを手動で設定する場合は、一度、「手動」に変更し「適用」ボタンを押してから IP アドレスを入力してください。
- \*10：タブレット端末／スマートフォンから画像やファイルを送信して表示する（40 ページ）場合、無線のアクセスポイントとして USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3（付属）を使用できます。

\*11：「手動」の工場出荷時の設定は以下のとおりです。

SSID : VPL + 有線 LAN の MAC アドレス

セキュリティ方式 : WEP (64bit)

パスワード : sony1

「手動」の設定を変更する場合は、ウェブブラウザで変更してください。

設定を「手動」にした場合、ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を使用する（37 ページ）ときに「手動接続」を選択し、接続してください。

## ■ 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
画像反転	<b>上下左右／左右／上下／切</b> ：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
設置角度	<b>床置き／天井つり／画像反転連動</b> ：設置角度に応じて冷却設定を変更します。「画像反転連動」を選ぶと、「画像反転」の設定に基づいて冷却設定を変更します。誤った設定のままで使用すると部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
高地モード <sup>*1</sup>	<b>入／切</b> ：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与えるおそれがあります。
V キーストーン <sup>*2</sup>	<b>オート／手動</b> <sup>*2</sup> ：数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

### ご注意

\*1：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。

\*2：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

## ① 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
fH（水平周波数）／ fV（垂直周波数）*1	現在入力されている信号の水平周波数／垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

### ご注意

\*1：入力信号によって表示されない場合があります。

# ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

- ・ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- ・ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
- ・プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- ・アプリケーションを使用し、プロジェクターの投写画面上にメッセージを表示する。
- ・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP（Dynamic Device Discovery Protocol）、Crestron RoomView）に対応。

## ご注意

- ・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8/9/10 です。
- ・表示可能言語は英語のみです。
- ・コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- ・メッセージを表示するには、専用のアプリケーション Projector Station for Network Control（バージョン 1.1 以降）が必要です。Projector Station for Network Control に関しては、販売店へお問い合わせください。

## ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

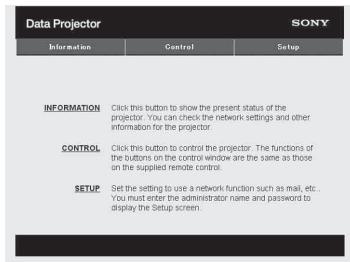
- 1 LAN ケーブルをつなぐ** (9 ページ)。
- 2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。**

「接続／電源設定」の「有線 LAN 設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください (28 ページ)。

- 3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。**

http://xxx.xxx.xxx.xxx  
 (xxx.xxx.xxx.xxx : プロジェクターの IP アドレス)  
 プロジェクターの IP アドレスは、「接続／電源設定」の「有線 LAN 設定」で確認できます (28 ページ)。

ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。



一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 3 の操作だけでコントロール画面を表示できます。

## コントロール画面の操作方法

### ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。



ページ切換えボタン

### アクセス制限を設定する

各ページの利用者を次のように制限できます。

**管理者**：すべてのページにアクセス可能。

**ユーザー**：Setup ページ以外にアクセス可能。

Setup ページ内の Password ページから設定します。

初めて Setup ページにアクセスするときは、ユーザー名「root」、パスワード「なし」でアクセスしてください。

なお、管理者の名前は「root」に固定されています。



「管理者」権限の入力エリア

「ユーザー」権限の入力エリア

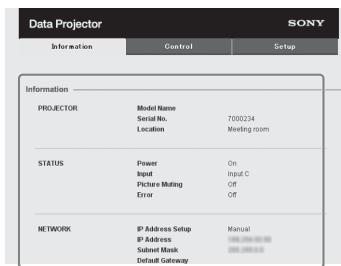
パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（\*\*\*\*\*）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

### ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

## プロジェクターの状態を確認する

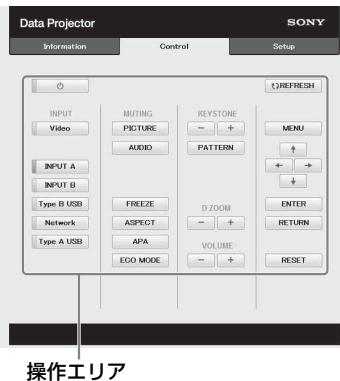
Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。



情報エリア

## プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。



操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

## メールレポート機能を利用する

Setup ページからメールレポート機能を設定します。

Setup ページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

### 1 メールレポートに記載される所有者情報を入力する。

Owner information ボタンを押し、メールレポートに記載される所有者情報を入力します。

Owner information  
ボタン

1

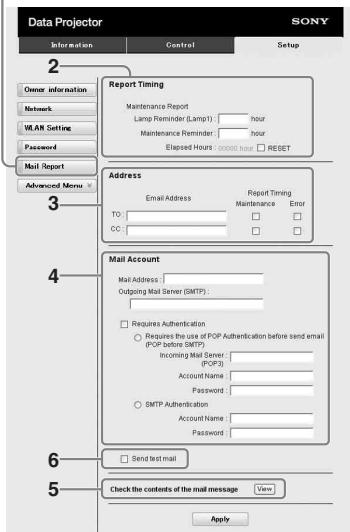
### 2 メールレポートのタイミングを設定する。

Mail Report ボタンを押し、Mail Report ページを開く。

**Lamp Reminder (Lamp1)** : ランプ交換のためのレポートタイミングを設定します。本体側でランプタイマー初期化を実行するとリセットされます。(26 ページ)

**Maintenance Reminder** : 任意のメンテナンスのレポートタイミングを設定します。RESET チェックボックスをチェックし、Apply ボタンを押すとリセットされます。

## Mail Report ボタン



### 3 送信先メールアドレスを入力する。

Email Address に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックします。

### 4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

**Mail Address :** メールアドレスを入力します。

#### Outgoing Mail Server

**(SMTP) :** 送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。

**Required Authentication :** メール送信に認証が必要な場合にチェックします。

**Requires the use of POP Authentication before send email (POP before SMTP) :**

メール送信時に POP 認証を行う場合にチェックします。

## Incoming Mail Server

**(POP3) :** POP3 認証で使用される受信メールサーバー (POP3) のアドレスを入力します。

**Account Name :** アカウント名を入力します。

**Password :** パスワードを入力します。

**SMTP Authentication :** メール送信時に SMTP 認証を行う場合にチェックします。

**Account Name :** アカウント名を入力します。

**Password :** パスワードを入力します。

### 5 メールレポートの内容を確認する。

View ボタンを押すと、送信されるメールレポートの内容が表示されます。

### 6 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

#### ご注意

- Outbound Port25 Blockingを行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- 文字列が入力できるボックスに「」「」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

## ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能 を使用する

ネットワーク経由でプレゼンテーション機能を使用することで、以下のことができます。

- ・プロジェクターに最大8台のコンピューターを同時に接続する。
- ・最大4台のコンピューターから同時に映像を投写する。
- ・USB ワイヤレス LAN モジュール(付属)を利用する場合、プロジェクターに最大7台のコンピューターを同時に接続することができます。

ネットワーク経由でのプレゼンテーション機能を利用するためには、付属の CD-ROM に収録されているアプリケーション Projector Station for Network Presentation をコンピューターにインストールする必要があります。Projector Station for Network Presentation のソフトウェアアップデートについて、詳細はソニーのホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/vpl/support/download/index.html>

以下はアプリケーションの使用に必要な動作環境です。

### OS

WindowsXP : Home/Professional (推奨)

WindowsVista : Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise

Windows7 : Home Premium/Professional (推奨) /Ultimate/Enterprise

### CPU

Pentium4 2.8GHz 以上

#### ご注意

- ・アプリケーションをインストールする場合には、管理者権限が必要です。
- ・管理者権限がない場合は、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・ファイアウォールやセキュリティソフトなどがインストールされている場合は、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・ネットワークアダプタのドライバのバージョンによっては、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
- ・メディアプレーヤーなどの動画再生ソフトは正常に表示できない場合があります。

## Projector Station for Network Presentation をインストールする

- 1 起動中のアプリケーションを全て終了する。
- 2 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入する。
- 3 CD-ROM 内の.exe ファイルをクリックする。  
ユーザー アカウント制御が表示される場合には、「許可」あるいは「はい」をクリックしてください。
- 4 ウィザードの指示に従ってアプリケーションソフトウェアをインストールする。

## Projector Station for Network Presentation を起動する

- 1 プロジェクターをネットワークに接続する。

有線 LAN を使用する場合は、本機を LAN ケーブルで接続し、ネットワーク設定を行ってください。(33 ページ)

無線 LAN を使用する場合は、「LAN 端子 (LAN)」(9 ページ) または「USB 端子 (タイプ A) (←→)」(10 ページ) をご覧下さい。また、無線 LAN の設定を確認してください。(28 ページ)

## 2 プロジェクターを起動する。

投写する映像として「ネットワーク」を選択してください (12 ページ)

## 3 Projector Station for Network Presentation を起動する。

コンピューター上で [スタート] ハンズルの [Projector Station for Network Presentation] を選択してください。

### 映像を転送する

Projector Station for Network Presentation を起動すると、接続設定画面が表示されます。

## 1 ネットワークに接続されているプロジェクターを検索する。

接続設定画面の「検索」をクリックし、プロジェクターを検索します。



### ご注意

- ・アプリケーションの画面は予告なく変更されることがあります。
- ・プロジェクターが無線 LAN でネットワークに接続されている場合、「SSID」をお買い上げ時の設定から変更すると、

検索で見つからない場合があります。

- ・プロジェクターが有線 LAN でネットワークに接続されている場合、ネットワークの環境により検索で見つからない場合があります。
- ・「無線 LAN 設定」の「SSID」と「セキュリティ方式」、「ワイヤレス パスワード」を変更しているプロジェクターに接続する場合には、手動接続を選択し、接続を行なってください。

## 2 映像転送先のプロジェクターを選択する。

チェックボックスをチェックしてください。

## 3 「接続」をクリックする。

他のユーザが映像を転送している場合には、画面にコントローラーが表示されます。■をクリックすると映像の転送を開始します（40 ページ）。

他のユーザーが映像を転送していない場合は、画面にコントローラーが表示され、映像の転送を開始します。

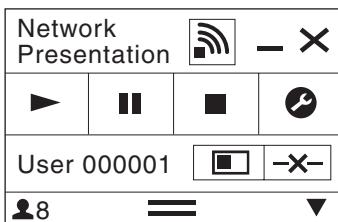
### ご注意

アプリケーションを起動すると、パソコンの解像度など表示に関する設定が変更されます。

## 接続設定

項目	説明
無線 LAN アダプタ	Projector Station for Network Presentation で利用する無線 LAN アダプタを選択します（無線接続のみ表示されます）。
接続履歴	今までに接続したことがあるプロファイルを表示します。
検索結果	検索結果を表示します。
プロファイル名	ネットワーク上で検出されたプロジェクターの登録名称を表示します。
接続方式	接続方式（無線／有線）を表示します。
	電波強度を表示します（無線接続のみ）。
SSID	SSID を表示します（無線接続のみ表示されます）。
IP アドレス	IP アドレスを表示します（有線接続のみ表示されます）。
検索	プロジェクターの検索を開始します。
削除	選択したプロファイルを削除します。
プロパティ	選択したプロファイルのプロパティを表示します。
接続	選択したプロジェクターに接続し、転送を開始します。
手動接続	SSID や IP アドレスを手動で入力してプロジェクターに接続し、転送を開始します。

## コントローラーの操作のしかた



項目	機能
▶	転送を開始します。
⏸	転送を一時停止します。
⏹	転送を停止します（黒画面となります）。
⚙️	アプリケーションの設定を変更します。
-X-	プロジェクターとの接続を切断します。
□	画面表示状態を指定し、転送を開始します。
画面表示状態	映像を転送しません。
	映像を全画面で転送します。
	映像を2画面左で転送します。
	映像を2画面右で転送します。
	映像を4画面左上で転送します。
	映像を4画面右上で転送します。
	映像を4画面左下で転送します。
	映像を4画面右下で転送します。
📶	現在の電波強度を表示します。

項目	機能
👤	プロジェクターに接続しているユーザー数を表示します。
▼	他のユーザーの状態を表示します。

## タブレット端末／スマートフォンから画像やファイルを送信して表示する

専用のアプリケーションを使用することで、タブレット端末／スマートフォンに保存したJPEG画像やPDFファイルなどのワイヤレス投写ができます\*1。アプリケーションのダウンロード\*2や詳しい使用方法は、以下のURLを参照してください。

<http://PWPresenter.pixelworks.com>



\*1：アプリケーションの使用には、以下のうちいずれかが必要です。

- ・無線接続が可能なネットワークに接続されている（9ページ）。
- ・USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3（付属）をプロジェクターに接続してネットワークに無線接続する（10ページ）。

\*2：インターネットへのアクセス手段によりデータ通信料が発生する場合があります。

## USB 経由で映像を投写する

USB A-B ケーブル(別売)でプロジェクターとコンピューターを接続することで、映像を投写することができます。

USB 経由で映像を投写するためには、USB Display を起動する必要があります。

以下はアプリケーションの使用に必要な動作環境です。

### OS

WindowsXP : Home/Professional (推奨)

WindowsVista : Home Premium/Business/Ultimate/Enterprise

Windows7 : Home Premium/Professional (推奨) /Ultimate/Enterprise

### CPU

Pentium4 2.8GHz 以上

#### USB Display を起動する

**1 プロジェクターとコンピューターを USB A-B ケーブル(別売)で接続する (9 ページ)。**

**2 プロジェクターを起動する。**

投写する映像として「USB (タイプB)」を選択してください (12 ページ)。しばらくすると、本機が CD-ROM ドライブとして認識されます。

**3 CD-ROM ドライブ内の「USB Display」を開く。**

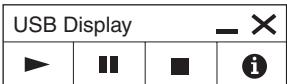
#### ご注意

- ・ アプリケーションを起動すると、パソコンの解像度が自動的に変更されます。
- ・ パソコンの設定によっては、アプリケーションが自動的に起動することがあります。
- ・ 終了時に「ハードウェアの安全な取り外し」を実行せずに、ケーブルを抜いてください。
- ・ メディアプレーヤーなどの動画再生ソフトは正常に表示できない場合があります。

#### 映像を転送する

USB Display を起動すると、画面にコントローラーが表示され、映像の転送を開始します。

## コントローラーの操作のしかた



項目	機能
	転送を開始します。
	転送を一時停止します。
	転送を停止します（黒画面となります）。
	アプリケーションの情報を表示します。

# USB Media Viewer 機能を利用する

本機の USB 端子（タイプ A）に接続した USB 記録メディア内の画像ファイルを、コンピューターを経由せずに投写することができます。

## 対応記録メディアとファイル形式

- ・対応記録メディア：USB フラッシュメモリー
- ・対応記録メディアフォーマット：FAT 形式
- ・対応ファイル形式：JPEG (.jpg/.jpeg)、Bitmap (.bmp)、PNG (.png)、GIF (.gif)、TIFF (.tif/.tiff)

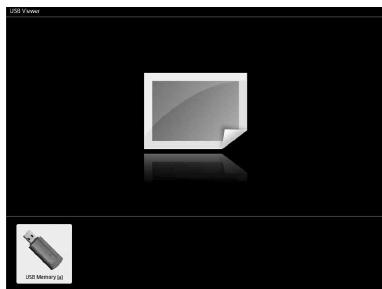
## ご注意

- ・exFAT、NTFS には対応していません。
- ・EXIF 情報を含む TIFF ファイルには対応していません。
- ・USB ハブを経由してプロジェクターに接続された USB メモリー内の画像ファイルは、表示できない場合があります。
- ・セキュリティ付き USB メモリーは正常に動作しない場合があります。
- ・複数のドライブとして認識される USB メモリーカードリーダーは正常に動作しない場合があります。
- ・ファイルサイズが 4092 × 3072 ピクセルよりも大きい画像の表示は保証しません。表示に時間がかかったり、表示できない場合があります。
- ・フォルダが深いフォルダ階層を含む場合やフォルダ名が長い場合、フォルダが表示されない場合があります。
- ・画像の種類によっては表示できない場合があります。
- ・フォルダ名およびファイル名に英数字以外が使用されている場合は、表示できない場合があります。
- ・画像を表示している時に USB メモリーを抜かないでください。USB メモリーおよびプロジェクターの故障の原因となります。USB メモリーは USB Media Viewer の USB メモリー 選択画面で抜いてください。

**1 USB メモリーをプロジェクターに接続する（11 ページ）。**

**2 投写する映像として「USB（タイプ A）」を選択する（12 ページ）。**

### 3 USB メモリーを選択する。



ENTER ボタンを押すとサムネイルモードが表示されます。

USB Media Viewer には「サムネイル表示モード」、「ディスプレイモード」、「スライドショーモード」の3つの表示モードがあります。

#### サムネイル表示モード

フォルダ内の画像が一覧で表示されます。



リモコンの **↑/↓/◀/▶** ボタンで画像を選択し、ENTER ボタンを押すと、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

#### オプションメニュー

サムネイルの表示順序や画像の表示方法を設定します。

項目	項目説明
	オプションメニューを非表示にします。
	ディスプレイモードに切り替わり、選択中の画像を全画面で表示します。(45 ページ)
	スライドショーモードに切り替わり、選択中の画像からスライドショーを開始します。(46 ページ)
	画像を並び替えます。

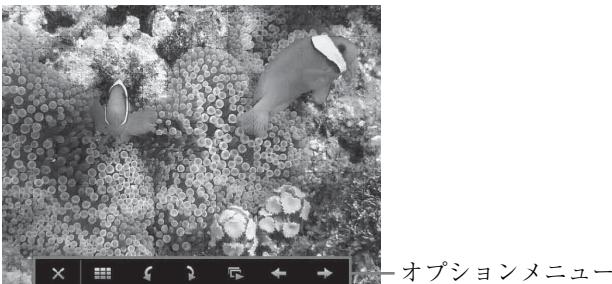
項目	項目説明
画像の並び替え	
◀②	名前の昇順で並び替えます。
◀④	名前の降順で並び替えます。
◀①	日付の昇順で並び替えます。
◀③	日付の降順で並び替えます。

### ご注意

- ・アプリケーションで作成した画像など、サムネイルデータがないファイルは、空白のアイコンが表示されます。
- ・一つのフォルダ内では、ファイルとフォルダーが200個までしか表示できません。

## ディスプレイモード

ディスプレイモードでは画像を全画面表示で閲覧することができます。



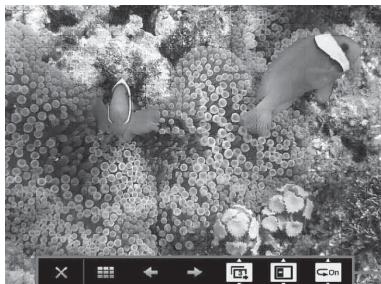
リモコンのENTERボタンを押すと、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

### オプションメニュー

項目	項目説明
×	オプションメニューを非表示にします。
---	サムネイル表示モードに戻ります。(44ページ)
↶	画面を反時計周りに回転します。
↷	画面を時計周りに回転します。
⤵	スライドショーモードに切り替わり、選択中の画像からスライドショーを開始します。(46ページ)
⤶	前の画像を表示します。
⤷	次の画像を表示します。

## スライドショーモード

スライドショーモードでは画像をスライドショーで閲覧することができます。



リモコンの ENTER ボタンを押すと、スライドショーが一時停止し、スクリーン下部にオプションメニューが表示されます。

### オプションメニュー

項目	項目説明
	オプションメニューを非表示にします。
	サムネイル表示モードに戻ります。(44 ページ)
	前の画像を表示します。
	次の画像を表示します。
	↑/↓ ボタンを押し、スライドショーのスライド切替時間を変更します。
スライドショーの切替時間	
	3 秒後に次の画像を表示します。
	5 秒後に次の画像を表示します。
	10 秒後に次の画像を表示します。
	↑/↓ ボタンを押し、スライドショーの切替効果を変更します。
スライドショーの切替効果	
	タイル状に画像が切り替わります。
	次の画像が画面左から現れます。
	次の画像が画面右から現れます。
	次の画像が画面上から現れます。
	次の画像が画面下から現れます。
	↑/↓ ボタンを押し、スライドショーの繰り返し設定を変更します。

項目	項目説明
スライドショーの繰り返し設定	
 On	最後の画像表示後に再び最初の画像からスライドショーを実行します。
 Off	最後の画像表示後にスライドショーが終了し、サムネイル表示モードに戻ります。

## インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表にしたがい対処してください。

### ON / STANDBY インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	無信号時設定（ランプオフ）状態です（28 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか（4 ページ、4 ページ）。 ・エアーフィルターがつまっていないか（56 ページ）。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設定されているか。（31 ページ）
6回点滅	電源コードを抜き、ON / STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

### LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容にしたがって対処してください。
2回点滅	ランプカバーが確実に取り付けられていません（54 ページ）。
3回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。 新しいランプに交換してください（54 ページ）。

# メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表にしたがい対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。 1分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていなか ・エアーフィルターがつまっているか。 ・設置設定の設置角度が正しく設定されて いるか。	4、4、31、 56
入力信号の周波数が対応範 囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応 している信号に変更してください。	61
入力 A 信号種別の設定を確 認してください。	「入力 A 信号種別」をオートまたは入力さ れている信号に合わせて設定してください。	28
フィルターを掃除してくだ さい	エアーフィルターを掃除してください。	56
ランプを交換し、フィル ターを掃除してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを掃除 してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタ イマーを初期化するまで、起動時に毎回表 示されます。	54、56
本機内部の温度が高くなっ ていますので、高地モード を入に切り替えます。高地 でご使用の際は、高地モー ドは入でお使いください。	高地（海拔 1500m 以上）で使用していない 場合は、以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていなか ・エアーフィルターがつまっているか。 ・設置設定メニューの設置角度が正しく設 定されているか。	4、4、31、 56
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	—
操作キーロック中です！	操作キーロックが設定されています。	27
まもなく電源オフします I/O キーで復帰できます	電源オフボタンが押され、まもなくシャッ トダウンされます。 I/O ボタンをもう一度押すと、シャットダ ウンが取り消され、電源オン状態に戻りま す。 すぐに電源オフにしたい場合は、I/O ボタ ンを数秒間長押ししてください。	17

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
ランプ減光中	信号無変化時設定により、ランプ出力を低減させている時に表示されます。信号変化や操作（リモコンまたは操作部）を検出すると復帰します。	29

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	-
	「操作キーロック」が「入」になっていると、本体の I/Oボタンで電源を入れることができません。	27
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	54
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。	13
	ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に outputするように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	
	アプリケーション「USB Display」もしくは 「Projector Station for Network Presentation」が起動していることを確認してください。	37, 41
	接続している USB メモリーが、本機に対応していることを確認してください。	43
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	12
	映像消去されていないことを確認してください。	6
アプリケーション 「USB Display」もしくは「Projector Station for Network Presentation」が起動 しない	本機と接続するコンピューターが、アプリケーションの動作環境に対応していることを確認してください。	37, 41
コンピューターが本 機と接続できない	・ 本機の有線 LAN 設定を確認してください。 ・ 無線の状態を確認してください。	28
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になつていると表示されません。	27

症状	対処のしかた	ページ
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	入力信号を正しく判定できないことにより、正しく表示されない場合があります。その場合は「アスペクト」の設定を手動で設定してください。	6、22、24
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	6、16、31
	「V キーストーン」が「手動」になっていると自動的にキーストーン補正がされません。「V キーストーン」を「オート」に設定するか、手動で調整してください。	6、16、31
画面が暗い／明るすぎる	スクリーンが傾いている場合、オート V キーストーン補正が正しく機能しない場合があります。「V キーストーン」を手動で調整してください。	6、16、31
	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	20、28
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプ使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	32、54
	「信号無変化時設定」が設定されている。	29
	消画中は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	29
	映像信号が入力されていない場合は、消費電力削減の為、ランプ輝度を低減させています。	-
画面が明るくなったり暗くなったりする	ランプ輝度を低減させている時間が長く続くと、一時的にランプ出力が上昇することがありますが故障ではありません。	-
	「ランプモード」の設定が「オート」の場合、映像によりランプの輝度が変動します。	28
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	14
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。	-
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8

症状	対処のしかた	ページ
音声が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	-
	消音されていると音声が出ません。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、26
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	-
	電池が消耗していないことを確認してください。	-
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	28、31
	吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	4、4

# ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合は、新しいランプに交換してください。

(49 ページ)

交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-D213（別売）をお使いください。

## △警告

- 電源を切った直後はランプが高温になっているため、触るとやけどの原因となります。ランプを充分に冷やすため、本機の電源を切ったあと

1 時間以上たってからランプを交換してください。

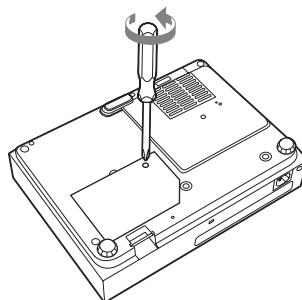
- ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

## △注意

- ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾げずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるこれがやけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

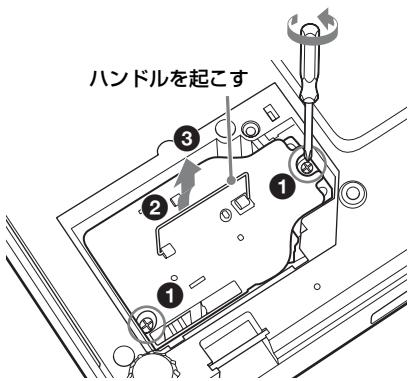
2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1本）をゆるめ、ランプカバーを開く。



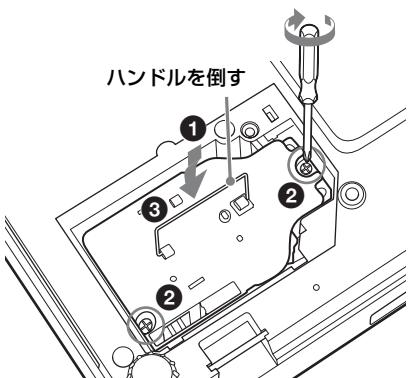
## ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはささないでください。

**3 ランプのネジ(2本)をゆるめ  
(①)、取り出し用ハンドルを起こし  
(②)ハンドルを持ってランプ  
を引き出す(③)。**



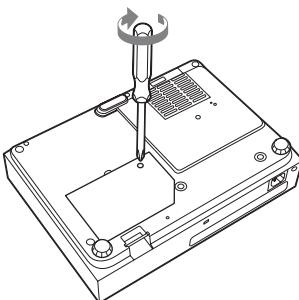
**4 新しいランプを確実に奥まで押し込み(①)、ネジ(2本)を締め(②)、取り出し用ハンドルを倒して元に戻す(③)。**



**ご注意**

- ・ランプのガラス面および導線部には  
触れないようご注意ください。
- ・ハンドルはしっかりと押し込み、確  
実に固定させてください。
- ・ランプが確実に装着されていない  
と、電源が入りません。

**5 ランプカバーを閉じ、ネジ  
(1本)を締める。**



**6 電源コードを電源コンセントに差  
し込み、電源を入れる。**

**7 ランプタイマーの初期化を行う。**

次回の交換時期をお知らせするため  
に、ランプタイマーを初期化しま  
す。機能設定メニューから「ランプ  
タイマー初期化」を選び、ENTER  
ボタンを押すとメッセージが表示さ  
れます。「はい」を選ぶとランプタ  
イマーを初期化します。(26 ページ)

# エアーフィルターを掃除する

投写画面に表示されるメッセージにエアーフィルター掃除のお知らせが表示された場合は、エアーフィルターを掃除してください（49 ページ）

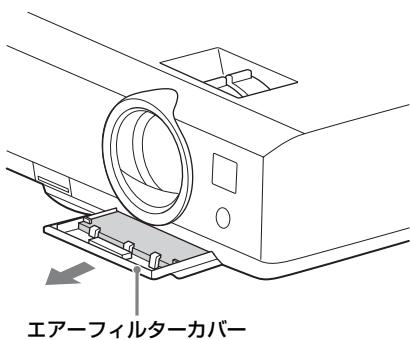
エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

## ⚠ 注意

エアーフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

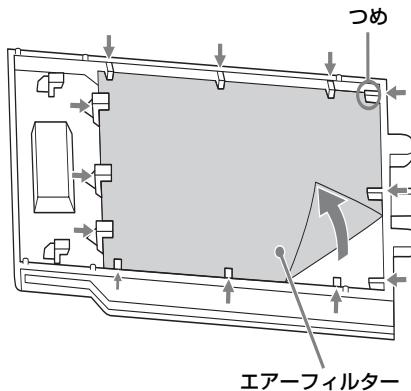
**1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

**2 エアーフィルターカバーを引き出して取り出す。**



**3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。**

エアーフィルターを引き出して取り外し、掃除機で掃除してください。



**4 エアーフィルターカバーを元に戻す。**

## ご注意

目の粗い面が本機底面に向くようにエアーフィルターを戻し、フィルターを元の位置に差し込んでください。

# 仕様

項目	項目説明
型名	VPL-DX146/DX126/VPL-DW126
投写方式	3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ VPL-DX146/DX126 : 0.63 型 (16.0 mm)、3 枚、アスペクト比 4 : 3 VPL-DW126 : 0.59 型 (15.0 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10
	有効画素数 VPL-DX146/DX126 : 2,359,296 画素 (1024 × 768 ピクセル、3 枚) VPL-DW126 : 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	ズーム 手動ズーム： VPL-DX146/VPL-DW126 : 約 1.3 倍 VPL-DX126 : 約 1.2 倍
	フォーカス調整 手動
光源	高圧水銀ランプ 210 W 型
画面サイズ	30 ~ 300 型 (0.76 m ~ 7.62 m)
有効光束 (明るさ) <sup>1</sup>	VPL-DX146 : 3200lm VPL-DX126/VPL-DW126 : 2600lm (ランプモード : 高)
スピーカー	1 W × 1 (モノラル)
対応走査周波数 <sup>2</sup>	水平 : 15 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz
表示可能解像度 <sup>2</sup>	最大入力解像度 : 1600 × 1200 ピクセル (リサイクリング表示) 信号入力時 パネル表示解像度 : VPL-DX146/DX126 : 1024 × 768 ピクセル VPL-DW126 : 1280 × 800 ピクセル
ビデオ信号入力 時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p
カラー方式	NTSC <sub>3.58</sub> 、PAL、SECAM、NTSC <sub>4.43</sub> 、PAL-M、PAL-N

項目	項目説明
型名	VPL-DX146/DX126/VPL-DW126
コンピューター／ 入力 A ビデオ入出力	<b>RGB/Y Pb Pr 入力端子：</b> ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号 : 1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号 : 0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号 : TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 <b>音声入力端子：</b> ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 B	<b>HDMI 入力端子：</b> HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
ビデオ入力	<b>ビデオ入力端子：</b> ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 <b>音声入力端子：</b> 入力 A と共用
その他の端子	<b>LAN 端子：</b> RJ45、10BASE-T/100BASE-TX <b>USB 端子：</b> タイプ A <b>USB 端子：</b> タイプ B
使用温度 (使用湿度)	0 ~ 35 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 10 ~ +60 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
電源	AC100V、3.0A、50/60Hz
消費電力	VPL-DX146 : 291 W VPL-DX126 : 290 W VPL-DW126 : 294 W
待機電力	5.7 W (スタンバイモード「標準」時) / 0.4 W (スタンバイモード「低」時)
発熱量	VPL-DX146 : 992 BTU VPL-DX126 : 991 BTU VPL-DW126 : 1004 BTU
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 315 × 87.2 × 233 (mm) 約 315 × 75 × 230.5 (mm) (突起部含まず)
質量	約 2.6 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリ - *3*4	プロジェクターランプ LMP-D213 (交換用)

## ご注意

- \*1出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジエクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。
- \*2詳細は、対応信号表をご覧ください（61ページ）。
- \*3ここに記載されている別売りアクセサリーは、2013年7月現在のものです。
- \*4別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- ・本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

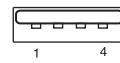
## ピン配列

HDMI 端子 (HDMI、凹)



1	T.M.D.S. Data2 +	11	T.M.D.S. Clock Shield
2	T.M.D.S. Data2 Shield	12	T.M.D.S. Clock -
3	T.M.D.S. Data2 -	13	N.C.
4	T.M.D.S. Data1 +	14	RESERVED (N.C.)
5	T.M.D.S. Data1 Shield	15	SCL
6	T.M.D.S. Data1 -	16	SDA
7	T.M.D.S. Data0 +	17	DDC GND
8	T.M.D.S. Data0 Shield	18	+5V Power
9	T.M.D.S. Data0 -	19	Hot Plug Detect
10	T.M.D.S. Clock +		

USB 端子 (タイプ A、凹)



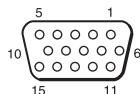
1	V <sub>BUS</sub> (4.4 - 5.25 V)
2	Data -
3	Data +
4	Ground

USB 端子 (タイプ B、凹)



1	VCC (+5 V)
2	Data -
3	Data +
4	Ground

RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

## 対応信号一覧<sup>\*1</sup>

### コンピュータ信号

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YPBP <sub>R</sub>	HDMI
640 × 350	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 400	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	
	37.9/73	●	
	37.5/75	●	
	43.3/85	●	
800 × 600	35.2/56	●	
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	
	46.9/75	●	
	53.7/85	●	
832 × 624	49.7/75	●	
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	
	60.0/75	●	
	68.7/85	●	
1152 × 864	64.0/70	●	
	67.5/75	●	
	77.5/85	●	
1152 × 900	61.8/66	●	
1280 × 960	60.0/60	●	●
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	
	91.1/85	●	
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1600 × 1200	75.0/60	●	●
1280 × 768	47.8/60		● <sup>*2</sup>
1280 × 720	45.0/60	●	● <sup>*3</sup>
1920 × 1080	67.5/60		● <sup>*3</sup>

解像度	fH[kHz]/ fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YPBP <sub>R</sub>	HDMI
1366 × 768	47.7/60	●	●
1440 × 900	55.9/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●

### デジタル TV 信号<sup>\*4</sup>

信号名	fV[Hz]	入力端子	
		RGB/ YPBP <sub>R</sub>	HDMI
480i	60	●	●
576i	50	●	●
480p	60	●	●
576p	50	●	●
1080i	60	●	●
1080i	50	●	●
720p	60	●	●
720p	50	●	●
1080p	60		●
1080p	50		●

### アナログ TV 信号

信号名	fV[Hz]	入力端子	
		Video	
NTSC	60	●	
PAL/ SECAM	50	●	

### ご注意

- \*1：・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- ・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

この機  
仕様

\*2：720/60p の動画配信信号として識別されます。

\*3：1080/60p の動画配信信号として識別されます。

\*4：同期付 G/Y 信号のみ対応。

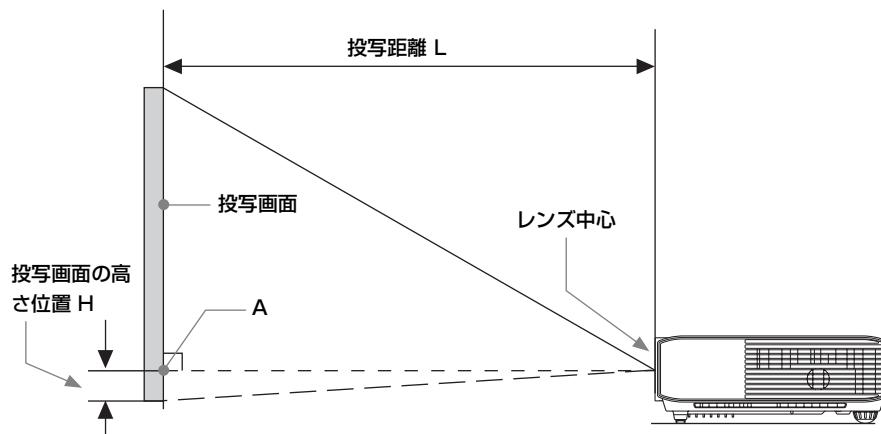
# 投写距離

投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。

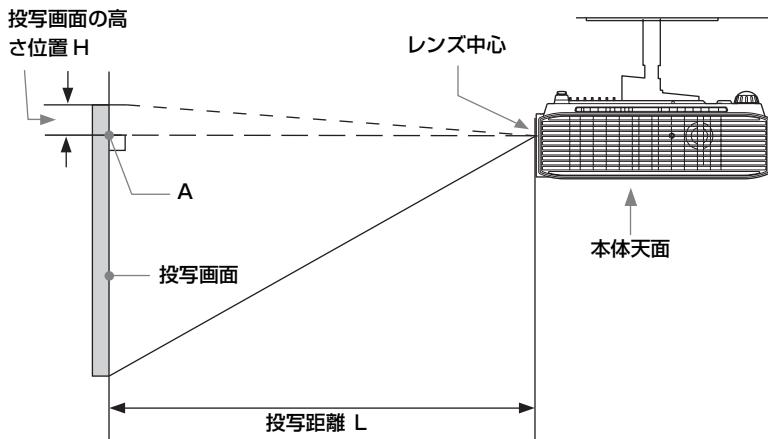
## △ 注意

天井への取り付け、移動は絶対に自分で行わないでください。必ずソニーの相談窓口にご相談ください。（有料）

### 床置き設置時



## 天井設置時



L : 投写距離

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

## 投写距離表 (VPL-DX146)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.25-2.92	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	2.81-3.66	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.44 × 1.83	3.38-4.40	-0.30	-0.30
150 型 (3.81m)	3.05 × 2.29	4.23-5.51	-0.38	-0.38
200 型 (5.08m)	4.06 × 3.05	5.65-7.36	-0.51	-0.51

## 投写距離計算式 (VPL-DX146)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L = 0.028366 \times D - 0.0290$	$L = 0.036956 \times D - 0.0283$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H = -0.00254 \times D + 0.00000$	$H = -0.00254 \times D + 0.00000$

## 投写距離表 (VPL-DX126)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.42-2.88	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	3.02-3.60	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.44 × 1.83	3.63-4.33	-0.30	-0.30
150 型 (3.81m)	3.05 × 2.29	4.55-5.42	-0.38	-0.38
200 型 (5.08m)	4.06 × 3.05	6.07-7.23	-0.51	-0.51

## 投写距離計算式 (VPL-DX126)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.030427 \times D-0.0234$	$L=0.036301 \times D-0.0236$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H=-0.00254 \times D+0.00000$	$H=-0.00254 \times D+0.00000$

## 投写距離表 (VPL-DW126)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	2.36-3.05	-0.20	-0.20
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	2.95-3.82	-0.25	-0.25
120 型 (3.05m)	2.58 × 1.62	3.55-4.59	-0.29	-0.29
150 型 (3.81m)	3.23 × 2.02	4.44-5.75	-0.37	-0.37
200 型 (5.08m)	4.31 × 2.69	5.93-7.67	-0.49	-0.49

## 投写距離計算式 (VPL-DW126)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン端までの高さ

計算式 1

単位 : m

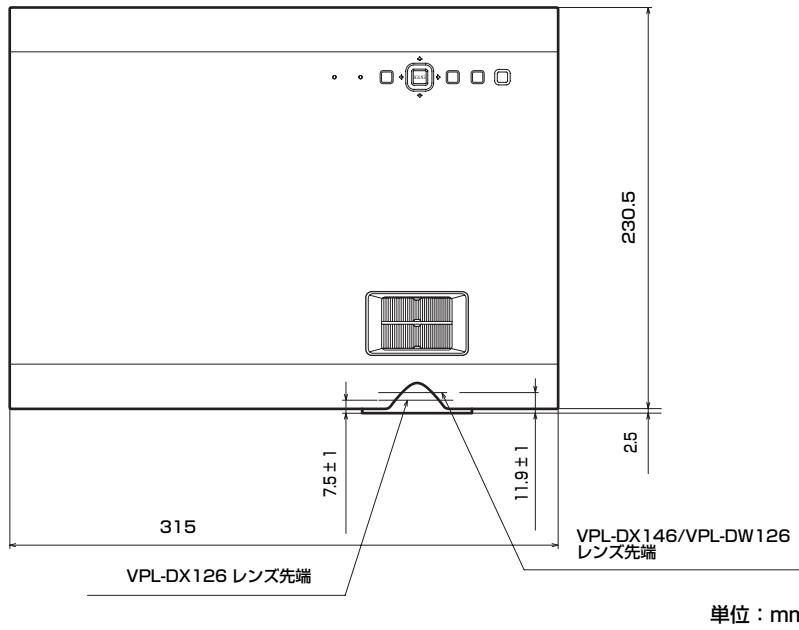
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$L=0.029757 \times D-0.0291$	$L=0.038536 \times D-0.0282$

計算式 2

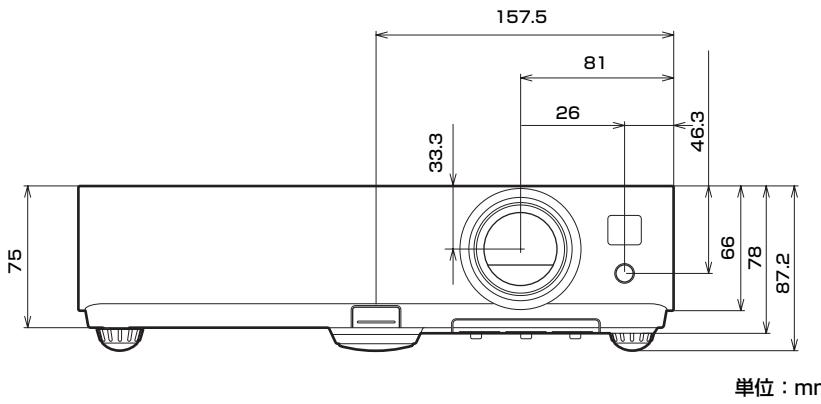
投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
$H=-0.00246 \times D+0.00000$	$H=-0.00246 \times D+0.00000$

# 寸法図

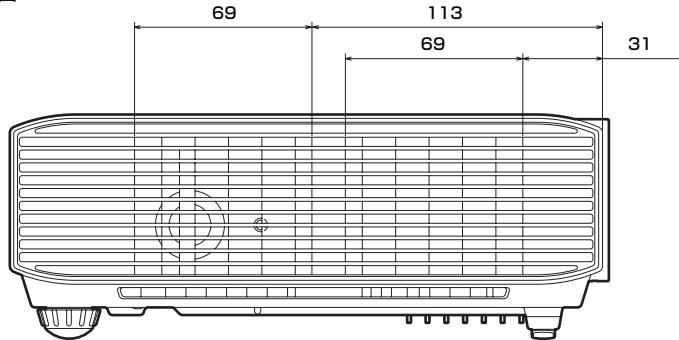
本体上面



本体前面

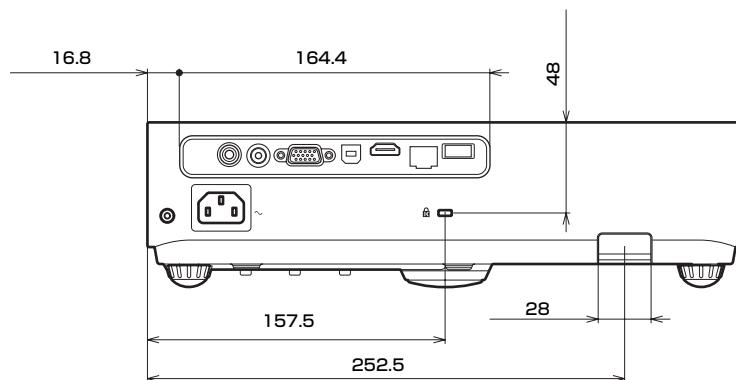


本体側面



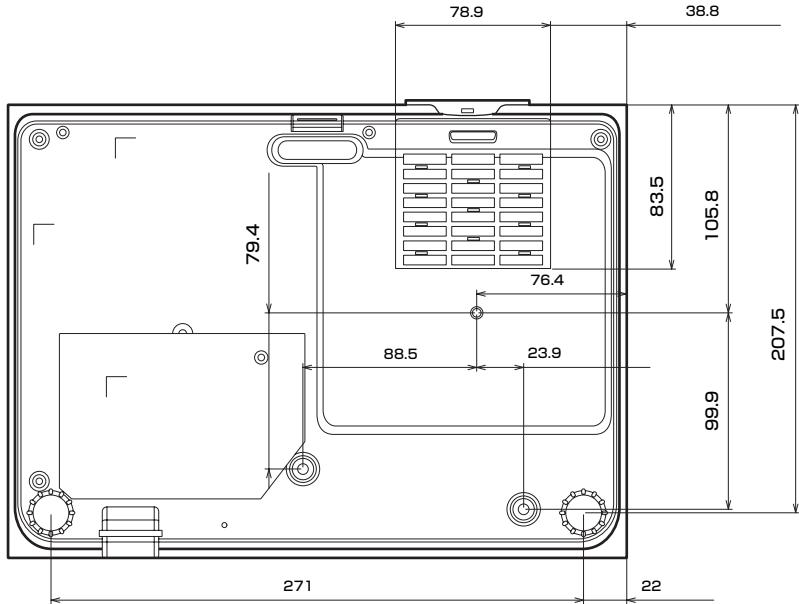
単位 : mm

本体後面



単位 : mm

本体底面



单位 : mm

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容を確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを →**  
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）**  
にご相談ください。

**保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。**  
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。**

# 索引

## あ

明るさ	20
脚調整ボタン	4, 15
アスペクト	6, 22, 24
色あい	20
色温度	20
色の濃さ	20
エアーフィルターカバー／吸気口	4
エアーフィルターを掃除する	56
映像消去	6
映像を投写する	12
エコ モード	6
音量	6

## か

各部の名前と働き	4
画質設定	20
画質モード	20
画像反転	31
画像反転運動	31
画面表示	27
画面モード	22
ガンマモード	20
機能設定	26
吸気口	4
後脚部（調整可）	4, 15
高地モード	31
故障かな？と思ったら	51
コントラスト	20
コントロール画面	33
コンピューターとの接続	8

## さ

シャープネス	20
仕様	57
消音	6
情報	32
シリアル No.	32
信号の種類	32
信号無変化時設定	29
垂直周波数	32
水平周波数	32

ズーム	14
スタートアップイメージ	26
スマート APA	26
セキュリティロック	27
接続端子	5
接続端子部	4
接続／電源設定	28
設置設定	31
前脚部（調整可）	4, 15
操作キーロック	27
操作設定	27
操作部	5

## た

対応信号一覧	61
台形補正	6, 16
デジタルズーム	6
電源コンセント	5
電源を入れる	5, 12
電源を切る	5, 17
投写距離	63
盗難防止用バー	4
盗難防止ロック	4

## な

入力	5
入力信号調整	23
入力を切り換える	5
ネットワーク機能を利用する	33, 37

## は

排気口	4
ビデオ機器との接続	10
表示言語	27
ピン配列	60
フェーズ、ピッチ、シフト	23
フォーカス	14
フォーカスリング	4
フリーズ	6
別売りアクセサリー	58
保証書とアフターサービス	71
本体	4

## ま

無信号時設定	28
--------	----

メールレポート .....	35
メッセージ一覧 .....	49
メニューの操作のしかた .....	18
モデル名 .....	32

## 5

ランプカバー .....	4
ランプ使用時間 .....	32
ランプタイマー初期化 .....	26
ランプを交換する .....	54
リモコン .....	5
リモコン受光部 .....	4

## A

APA .....	6
-----------	---

## C

CC ディスプレイ .....	26
-----------------	----

## H

H (水平) .....	23
--------------	----

## K

Keystone .....	6
----------------	---

## L

LAMP/COVER インジケーター .....	4, 48
LAN 端子 .....	5

## P

Projector Station for Network Presentation .....	37
---	----

## U

USB Display .....	41
USB Media Viewer .....	43

## V

V キーストーン .....	6, 16, 31
----------------	-----------

## 商標について

- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- Crestron RoomView は Crestron Corporation の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口業務などはホームページをご利用ください。  
<http://www.sony.jp/professional/support/>

#### 業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ..... **0120-788-333**

携帯電話・PHS・一部のIP電話など

フリーダイヤルがご利用になれない場合 ..... **0466-31-2588**

FAX **0120-333-389**(または**0466-31-2595**)

受付時間 9:00～18:00(土・日・祝日、および休業日は除く)

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1